

取材でレッスンなお話を信  
う中で「使う者貯める者」という話があつた。お客  
さんとしてお金を使うが、  
商売をして稼いだお金を  
貯めるかという一つの立場を対比してい  
て、実際どちらが良い悪いではなくどう  
らも必要なものではあるのだが、貯めた  
者は今も生き残っている  
というお話を。勿論貯め  
た者が今も貯め続けてい  
るかといふとそうではな  
く、今は使つてゐるど

卷之三

貯ある者  
使う者

そのようにして社会は成り立っている。人は尊らして行く中でいろんな体験をして思い出を貯め込

お話を伺い、記事を聞く事でその思い出や体験を棲いでいる感じで、少しだけ社会を回すにつながれてしまうのです。

記憶の流通

人で行く。たくさん人の経験をして思い出や体験を貯め込んでいても、お金と違つてなかなかそれを使う事ができないでいる

「ベーブマ」が強く、自分でコマを貰つた事が無いという松虫中学に通つ田中康左君(14)も、負ければバイは相手のものだ。バイとはゴミ箱を伏せ、上にザを敷き、手の中に收まる大きさの鎧物のコマを回し相手のコマを弾き出す遊びである。技術が拮抗し合うと、相手に勝つ為にコマ自身の改造が始まる。ライバルの先輩は鉄工所で働

## 田本の ものづくり原点

ノイエ

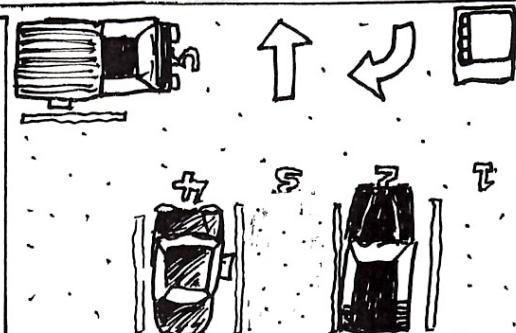
いて、いるため重い鉄の  
素材でコマを改造して  
いたのだ。悔しくて彼  
はコマを下に潜り込ま  
ず為にヤスリを掛けて  
全体を低くしたりして  
工夫したもの。素材  
の重さにはかなわな  
かつた為、結局先輩に  
頼んで同じ鋼鉄製に改  
造し、名前が同じとなつ

たところで原点に立ち返り、彼は「引っかけ」と言う技を使う為に相手の投げ入れるコマよりも一瞬コマを違させて相手のコマを紐に引っ掛けで外に弾き出す技を使つ。彼は今日も戰い続けてゐる。

わいのデッキはこれや

東田町下太子

町名変更



の太子地蔵にお花を飾つたり水をあげたりと月参りを欠かさない。お菓子屋のお父さんの代からのことだ。明治初頭まで飛田には墓地があつた。大坂の陣による戦死者をはじめ処刑された罪人や無縁仏の靈を供養するためにできたという。石の地蔵尊は坐像で、台座をあわせた高さが2mほど。側には無縁塔碑や来歴を記した古い石碑もあり、堺筋に面したところにある。地蔵盆には子供の名前が入った提灯が吊り下げられ、大勢の子供らで賑わう。このほど住居表示の変更で町名が東田町から太子に変わったが今も、信心は変わらない。

梅酒四十年。梅干しも二十年近く漬けている。梅のエキスパートで、今年は五キロ漬けた。おすそ分けを楽しみにする人も多い。秘訣はひと粒ずつ丁寧に扱う事だという。ルーツと言える亡き父の漬けた梅干しがある。古くは三十四年前。一九八〇年ものは、中年の梅は縁起よしとある。俗に還暦梅、甲申年の梅だ。次の二〇四〇年に武子さんは百歳。その梅を孫やひ孫に食べさせるのが今から楽しみ。

近頃は、演劇の  
オーディションで  
衆演芸を書いた。そ  
して今日はその役者  
・沢田ひろしの人の  
ヒストリーライフを書いて見た  
い。ほとんどの役者  
さんは座員の紹介や  
次の公演先の案内と  
いうことで、トーク

西方地圖樣式  
成達者：柳本京子（）

A child's black and white line drawing of a garden scene. On the left, a tall tree with diagonal hatching on its trunk has a small cluster of leaves at the top. In the center, a large butterfly with outstretched wings flies over a zigzagging caterpillar. To the right, a small caterpillar crawls on the ground. A single leaf falls from the sky above. The drawing is done with simple, expressive lines.

# 手作りの平和